

令和 4 年度がん対策推進懇話会（前回）の主な意見

主な意見	その後の神戸市の状況	報告書
HPV ワクチンについて、対象者の何%が接種したか、キャッチアップの個別通知を何人に出したか、といった数字の記述があると全体の割合がわかっている。	HPV ワクチンの現在の接種状況について、定期接種やキャッチアップ接種の接種割合等のデータを資料 5 にて報告。	P.4
神戸市がん検診で要精密検査となった方の、精密検査受診状況の未把握率が高くなっている。一因として、精密検査結果が医療機関や受診者から返ってこないことがあることが考えられるのではないかと。	精密検査実施医療機関宛に精密検査結果の提出を呼びかける協力依頼文を送付した。さらに、精検未受診者へ送付している、精密検査受診状況確認の文書を、受診の必要性を強く訴える内容へと修正することを関係機関と合意。修正内容の詳細について協議中。	P.9
医師会では ACP に関して委員会を立ち上げて取り組んでおり、神戸市からも市民への啓発、広報を進めてほしい。	有識者会議の報告を受けて、令和 4 年度に検討会議を設置した。検討会議内で協議し作成した、啓発パンフレット（参考資料）を公的施設や医療介護施設等で市民へ配布した。そのほか、関係団体主催の市民向け公開講座や研修会等で ACP の説明をするなど啓発・広報に取り組んでいる。取り組み状況等について、資料 10 にて報告。	—
がん患者会の交流会を再開してほしい。（コロナ禍以前は神戸市が主催で患者会を開催） 病院から依頼を受けてピアサポートする機会を増やしたい。	ひょうごがん患者連絡会との共催で、R5.12.17 にがん患者交流会を開催予定。 ピアサポーター養成研修を所管する兵庫県へご意見を伝えた。	P.14
仕事と治療の両立について、職場で患者が何に困っているのかを具体的に抽出して対策を進めてほしい。	がん患者の困り事について、がん相談支援センターやがん患者アピアランスケア支援事業のアンケートから把握した結果、治療に関することや経済的な困り事（治療費・傷病手当等）に関する相談が多かった。 ご指摘の職場での困りごとについては、がん相談支援センターに相談に来た時には既に仕事を辞められていることが多いため、職場での理解を深めていただくよう企業等への働きかけが必要と考えている。 毎年企業および市民に対し、仕事と治療の両立支援に関する内容を含めた講演会を開催している。また、企業が利用できる支援制度（治療と仕事の両立支援助成金・人材確保等支援助成金）や「治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」の情報をホームページや講演会で紹介している。その他、がん相談支援センター連絡会を秋ごろ（10 月頃）に実施する予定であり、その際就労に関する困り事等、課題の整理を行っていく。	P.14

